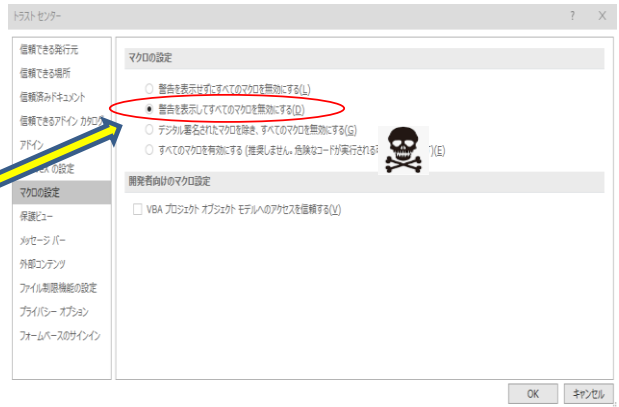


IC910SAT の操作説明(初期設定)

1. 事前準備 <<Excelセキュリティの設定>>

※このソフトはマクロ(VBA)を含んでいるので**セキュリティの設定変更**が必要となります。
 通常のExcel(何でも可能)を立ち上げて
【ファイル】⇒【オプション】⇒【トラストセンター(セキュリティセンター)】⇒【トラストセンターの設定】⇒【マクロの設定】で【警告を表示してすべてのマクロを無効にする】にチェックを入れて下さい。

「すべてのマクロを有効にする」は危険ですの推奨しません。



2. Calsat もしくはKSATを先に起動しておく

Calsat JR1HOUさん作のソフトです。 **KSAT** JH3RKBさん作のソフトです。

3. IC910SATを起動します。

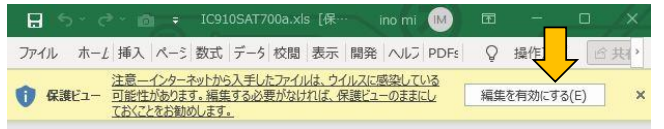
① ダウンロード後の起動で表示されない場合

【保護ビュー】で停止の可能性あり！ Excelアイコンclick (アンダーラン有り)



②【保護ビュー】メッセージの対応

インターネット等から入手した場合に表示されるので**【編集を有効にする】**をクリック



③【セキュリティの警告】メッセージの対応

IC910SAT初回(アップデート時)立上時に出ますので**【コンテンツの有効化】**をクリック



※起動してもメインフォームが表示されない場合は画面外に出てる可能性があります。

再度ダウンロードするか、強制終了してメイン設定シートのMainForm Top/LEFTを書き換えて下さい。

PCやディスプレイを画面の小さい物に変更して場合に発生の可能性あり、配布時は小画面用に設定してあります

4. PC<=>リグ間の通信設定を行います。(COM・通信速度・アドレスはPC&リグの設定を確認)

①クリック

②運用形態を選択

③RIG名を選択
IC9100/9700はIC910を選択

サイドトーンは
CW <=> SSB切り替え時に使用しますのでリグ設定の周波数を正確に入力願ひ

UP12Cを使用してエラーが出る場合はここにチェックを！
多少出にくくなります

ここにチェックを入れるとLogBookが

リグ2台の時は先にリグ側の運用周波数を設定して下さい

RIG名はプルダウンの中から選択して下さい。
送信機/受信機の入替は

※プルプルダウンの中から選択して下さい。
無い場合は**直接入力可能**

リグ2台の使用設定で2台使用するか、1台で片方をダミーとする設定

拡張機能用 IC9100/9700 RF-POWER/CWスピード設定
メインメニューボタンの値です。
自由に設定して下さい。
数値については

1、必ず最初に初期設定を！！ RIGの接続確認も

2、メイン画面の説明

- 自動制御ボタン**
リグの周波数自動制御のON/OFFボタンです。
- 情報再設定(リセットボタン)**
初回と動きに異常があった場合に使用
- 送信固定/受信固定等の切り替えボタン**
衛星 = FM衛星専用です。
BC = ビーコン受信用です。
- オフセット周波数 (変動側を操作します)**
理論周波数との差補正用
※固定的なずれ=>Excelの衛星情報で補正可
・各衛星のよるずれ/北上南下のよるずれ
※随時変化する要素
・相手局との緯度の違いによるドップラー差
操作方法
◀▶ ボタンクリックで100Hz動きます。
その内側で10Hz動きます。
※フォーカスがIC910SATにある場合はKBの
⇐⇒ キーで操作可能
- Offset値表示 & 標準値変更**
立ち上げ時は衛星情報シートの
Offset最新(K列)がセットされます。
数字**ダブルクリック**で衛星情報シートの
"Offset基準値"(O列)がセットされます。
- 各種設定**
・Offset値の最新(最終)情報の保存を指定
・ちらつき低減(IC9700用)
・飛来通知(EL-3 度で音を鳴らします)
・簡易LOG表示 (通信設定にチェック時有効)
※記録は送信 & LOGで送信ボタンを押した時に
記載されます。
- 拡張機能の表示/非表示切替ボタン**
IC9100 / IC9700 のみ使用可能
- CW のスピード設定**
通常ボタンはいつも使うスピードを設定出来
ます
- キータイプの設定が出来ます。(IC9700のみ)**
初回はソフト起動前のリグ設定のままです。
- 自動制御中にスコープの幅を変更出来ます。**
(FIXは自動制御終了後にマニュアルで操作)



- PC<=>リグ 通信設定**
このソフト導入時やリグ変更時に使用
Comポート関連/リグ/トーンなど
- RIG入替ボタン**
・RIG1送信 RIG2受信設定時に有効
・ANTの関係で144/430のリグが決まっている場合
衛星変更時RIG入替を実施
- 地上波運用用メモリ操作機能**
IC910/FT847で簡単に地上波運用に切り替える
機能でメモリも可能
衛星終了後の地上波サービス対応機能
- モード変更(プルダウン)**
立ち上げ時は衛星情報シート(G列/H列)のモード
IC910系とIC9100/9700では表示が異なります。
FT847はSSB・CW・CWn・CW・FMのみ有効
その他は指定しても標準になります
※IC9700でウォーターフォールを合わせたい場
合はフィルターを3.0kHz程度に広げてCWでも
運用可
(ドップラー対応でなるべく広く設定)
- 送信周波数微調整**
受信で相手にゼロインした時に送信周波数だけを
動かして自分のダウンもゼロインする機能です。
SSBの補正やCWでパイルを抜くテクニック用(〃)
操作はOffsetと同じです。
- 衛星別モード切り替えボタン**
AO-7/AO-91/95の各モードに対応します。
- このウィンドウを閉じてExcelへ移動します。**
- RF-Power 調整**
LOW/MID/HIの値は各種条件設定で自
由に変えられます。
数値は無線機マニュアル参照
- メモリキーヤー**
右のボタン内容は通信設定で変更可能
- 簡易ログ記録**
送信せずに記録出来ます。
時間・CALL・衛星名を記録
- 簡易ログ記録**
送信後に時間・CALL・衛星名を記録
(CQ時を想定しています。)
CALL無しで時間・衛星名記録も可能

3、操作

- ①リグの接続確認
- ②RIG(再)接続ボタン => 自動開始ボタン
- ③固定周波数側のVFOを回してPC側の周波数が変化すればOKです。
- ④衛星が来たら、まずビーコンが聞こえるか確認
- ⑤端の方で手短かに送信してダウンを確認しOffsetを調整
- ⑥通常の交信のやり方でCQや追っかけを行って下さい。
衛星は可視時間が短いので手短かに...

※確認事項 (正常運用の条件)

PCの時計確認

PCの時計は正確では有りません。桜時計等で正確に！
時間は数秒でも狂うとELが高い場合はドップラーが大きい為周波数に差が出ます。
(ELが低い場合はあまり過敏になる必要はありませんなるべく合わせましょう)

CALSAT・KSATの
運用場所設定

運用場所の設定を忘れずにやって下さい。
これも時計と同様に衛星の方向やドップラに差が出ます。
移動運用などした後、書き換えを忘れる事があります(作者)。これも要注意

SAT未対応機での運用方法

無線機2台で運用 (入替方法について)

片方がIC9700/9100/910等SAT対応機使用の場合はSUBをOFFにしてください。

UP周波数145MHzの衛星での例

送信側

送信担当 (無線機) 受信担当 (無線機)

使用する無線機
 送受信 送信 受信
 ※タミ→RIGは自動設定します。

RIG1: RIG選択 ICOM, Com No 8, 通信速度 9600, SideTon 600, Rig Add 7C
 RIG2: RIG選択 ICOM, Com No 10, 通信速度 9600, SideTon 600, Rig Add 7D

FO-29/RS-44等 (上段は送信固定で設定の衛星初期値)

初	受信	送信	145 (VFO操作可能)	自動計算 ⇒	435
変	受信	送信	145	← 自動計算	435 (VFO操作可能)

※SSBは受信固定で運用する事も有り



衛星変更でUP周波数が435MHzなった場合(入替ボタン対応) UP周波数430MHzの衛星

受信側

送信担当 (無線機) 受信担当 (無線機)

使用する無線機
 送受信 送信 受信
 ※タミ→RIGは自動設定します。

入替ボタン

RIG1: RIG選択 ICOM, Com No 10, 通信速度 9600, SideTon 600, Rig Add 7D
 RIG2: RIG選択 ICOM, Com No 8, 通信速度 9600, SideTon 600, Rig Add 7C

CAS-4A/B XW-2A等

初	受信	送信	435	← 自動計算	145 (VFO操作可能)
変	受信	送信	435 (VFO操作可能)	自動計算 ⇒	145

送信固定での運用はほとんど無い!

無線機1台で運用方法 (変動周波数側のコントロールを推奨)

送信固定衛星 受信機をPCでコントロール (送信機はPCを見てマニュアル操作)
一旦受信固定(VFO操作)にして相手をや空き周波数を探して送信固定に切り替えて運用

送信側

送信担当 (無線機) 受信担当 (無線機)

使用する無線機
 送受信 送信 受信
 ※タミ→RIGは自動設定します。

RIG2: RIG選択 ICOM, Com No 10, 通信速度 9600, SideTon 600, Rig Add 7D

③ 送信周波数をPC表示の周波数に合わせる。(固定周波数)

FO-29等

初期	受信	送信	145.950.000	自動計算 ⇒	435.846.711
①	受信	送信	145.985.000	← 自動計算	435 (VFO操作可能)
②	受信	送信	145.985.000	自動計算 ⇒	435.820.620

【推奨】 ①受信固定にして受信周波数(GQ=空き 追っかけ=相手)を決め
 ②送信固定に戻して運用 ③PCの送信周波数に送信機の周波数を合わせる

受信固定衛星 受信機をPCでコントロール (送信機はPCを見てマニュアル操作)
一旦送信固定(VFO操作)にして相手をや空き周波数を探して受信固定に切替えて運用

受信側

送信担当 (無線機) 受信担当 (無線機)

使用する無線機
 送受信 送信 受信
 ※タミ→RIGは自動設定します。

RIG2: RIG選択 ICOM, Com No 10, 通信速度 9600, SideTon 600, Rig Add 7D

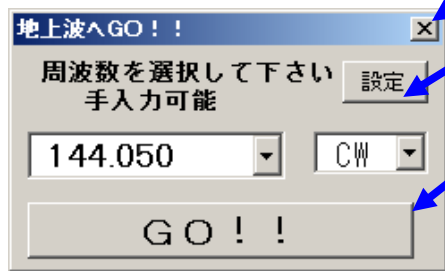
① 空き周波数or相手局を探し送信固定にして周波数を合わせ受信固定にする。

XW-2A等

初期	受信	送信	435.042.886	← 自動計算	145.675.000
②	受信	送信	435 (VFO操作可能)	自動計算 ⇒	145.677.654
③	受信	送信	435.040.000	← 自動計算	145.677.654

【推奨】 ①受信担当無線機で受信周波数(GQ=空き 追っかけ=相手)を決めて
 ②送信固定にしてPC表示の受信周波数になるようにVFO調整
 ③受信固定に戻して運用 (送信周波数の微調整はOffsetで調整可)

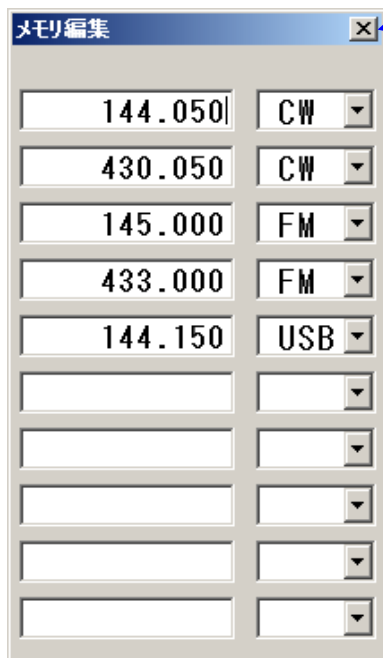
IC910SAT の操作説明（地上波）



・終了ボタン
リグコンに移ります。

・メモリの設定
下記、メモリ編集画面を呼び出します

・GO ボタン
上記設定周波数/モードにリグを書き換えます



・終了ボタン
地上波へGOへ移ります。

・メモリ編集
周波数は手入力/モードはプルダウンから選択
入力毎に仮保存されます。

HDD等への保存はリグコンの終了時に保存
されます。